

11

其ノ端ヲ養セズレハ其ノ毒言ハラス

コイモ常軌其ニ假スル察一節ノ語ヲマテハ、善其論ハ其論ノ常軌
 見レドトハ、善其論ハ其論ノ常軌ニ對シテ、其ノ端ヲ養セズレハ其ノ毒言ハラス
 其ノ端ヲ養セズレハ其ノ毒言ハラス

ハ其ノ端ヲ養セズレハ其ノ毒言ハラス
 吾人モ出レヨク云テ其八月廿七日ハ、其ノ端ヲ養セズレハ其ノ毒言ハラス
 其ノ端ヲ養セズレハ其ノ毒言ハラス

財團法人協調會大阪支所

以上辯士ノ外ニ左記辯士ノ演説ガアツタ

尾關某(造船労働組合) 今吉一雄(護謨工組合)

前川某(造船労働組合) 林 某(造船労働組合)

井上某(水平社) 大本某(水平社)

司會者ニヨツテ閉會ノ辭ガ述べラレタ時ニ十時三十分

十時四十分ヨリ労働組合幹部連及病氣ノ爲永ク呻吟シテ居タ賀川
 豊彦君ヲ始メ高山義三(辯護士)三輪壽壯(辯護士)約五十餘名
 ニ依ツテ湊川食堂ニ於テ懇談會ガ開催サレタ何ガ倍テ口八丁ノ連
 中トテ猛烈ナ氣焔ヲ擧ゲ最初灘會長ニヨツテ挨拶ガアリ各自五分
 間演説ヲ試ミ盛會デアツタ就中賀川豊彦ト意見ヲ異ニスル木村錠
 吉ハ青柿善一郎氏ガ賀川氏ニ向ツテ質問演説ヲシタハ殊更滿場ノ
 連中ヲ緊張セシメタ

木村錠吉

賀川氏ト自分ハ意見ヲ異ニスルモノデアルガ私情ニ於テハ何等ノ